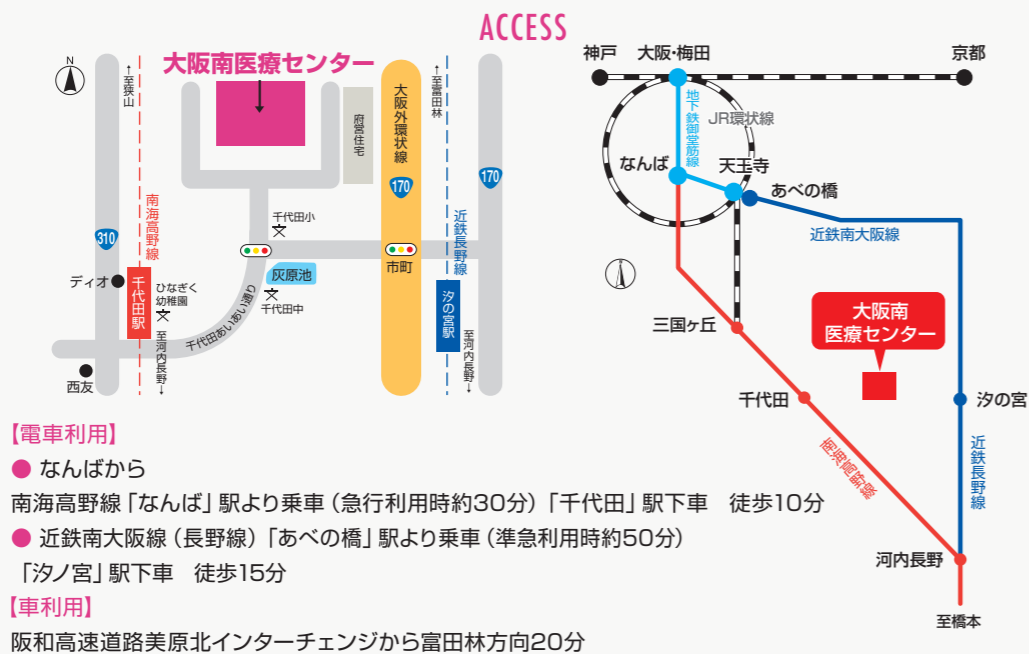




OSAKA MINAMI MEDICAL CENTER

Sustainable Development Nursing



地域医療支援病院／がん診療連携拠点病院

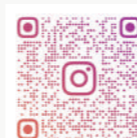
OSAKA-MINAMI 独立行政法人国立病院機構
NH O 大阪南医療センター



病院ホームページ

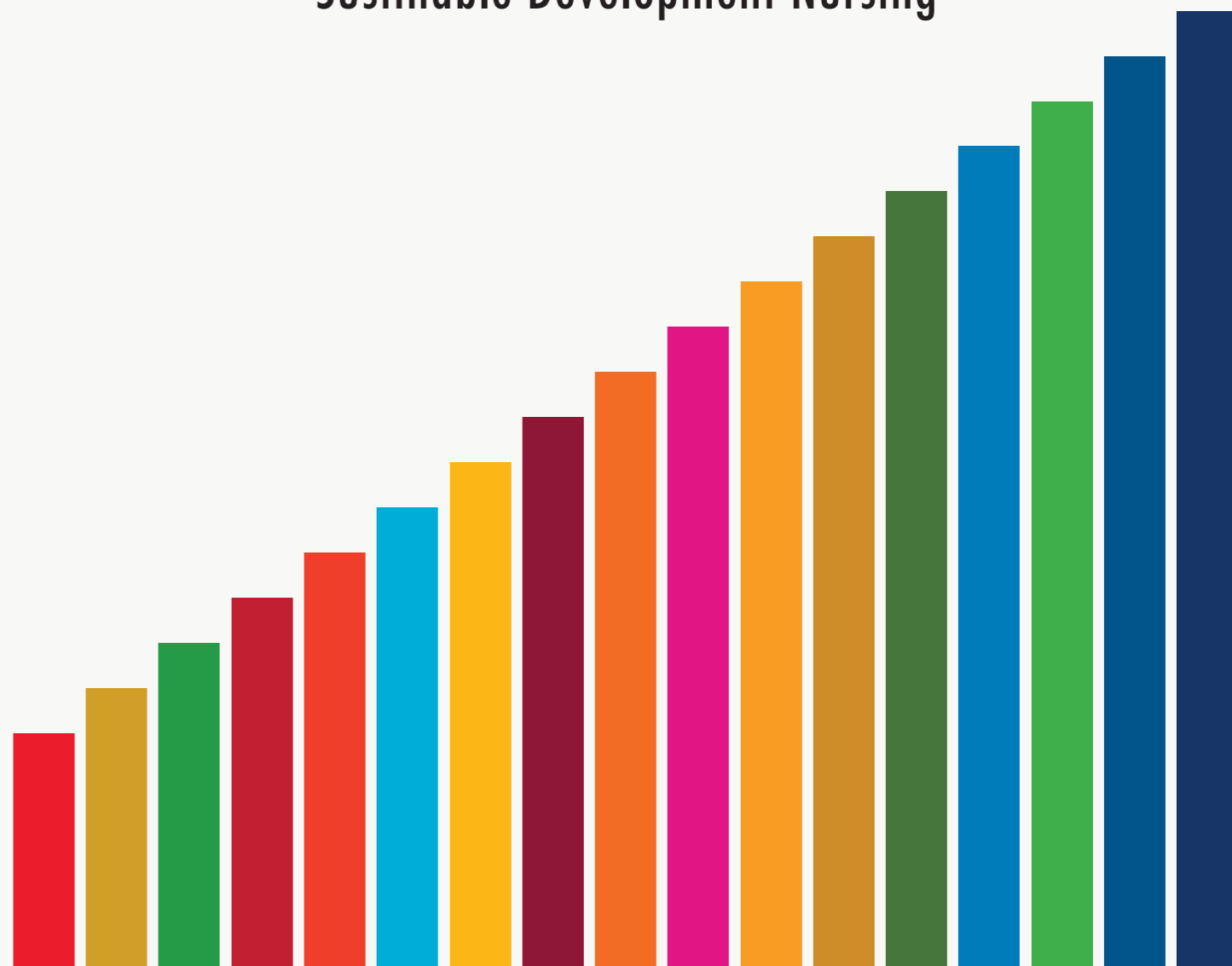


LINEはこちら



Instagramはこちら

〒586-8521 河内長野市木戸東町2番1号 Tel(0721)53-5761(代表) Fax(0721)53-8904





病院理念

私たちは、皆さまの生命と健康を守るため、
最良の医療を行い、
安心と満足を提供できるよう努めます。



病院概要

■ 病床数 384床

■ 診療科

内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・代謝内科、心療内科、精神科、神経内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器科、循環器科、脳血管内科、リウマチ・膠原病科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、病理診断科、救急科、腫瘍内科、緩和ケア内科

■ 診療機能

- 地域医療支援病院 ● 救急告示病院 ● エイズ拠点病院 ● 地域がん診療連携拠点病院 ● 臨床研究部 ● 臨床研修指定病院
- 臨床修練指定病院 ● 臓器提供施設 ● 病院機能評価認定施設 ● BFH(赤ちゃんにやさしい病院) 認定施設

看護部理念

看護の専門職者として生命と健康を守るため、
患者様・ご家族の人権を尊重し、
安心と満足を得られるよう質の高い看護の提供を目指しています。

病院長メッセージ

当センターは、国立病院機構140病院の一つとして、「国民一人一人の健康と我が国の医療の向上に努め、患者の目線に立つて懇切丁寧な医療を提供する」とともに、南河内2次医療圏の地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院・臨床研修指定病院として地域の急性期医療を支え、発展させるとともに COVID-19 感染拡大のような災害にも対峙できる地域中核公的総合病院として継続可能な発展をしてゆく責務を負託されています。この地域になくてはならない信頼される医療施設であり続けるべく、これからも病院職員一丸となって一意専心努力を続けてまいります。

看護部長メッセージ

当センターは、大阪南部地域の中核医療機関であり、南河内二次医療圏の地域医療支援病院として急性期医療を担い、また地域がん診療連携病院として質の高い医療の提供に努めています。

看護部の目指す看護は、患者さんにとって安全で安心でき、信頼と満足を得られる質の高い看護。そして看護職員の仕事への意欲や職務満足が得られる看護の提供です。

私たち看護職員は目指す看護に向かって、高い倫理観をもち、知識・技術に基づいた科学的判断のもと看護の実践に取り組んでいます。そのために、何をなすべきか、見えるまで考え抜く、そして今やるべきことを行う、しなやかな心をもった看護職でありたいと思っています。

看護体制 看護配置基準7:1

急性期入院医療に対応した看護配置基準を取得して、患者さんに満足してもらえる看護を提供します。

● 看護方式

継続受け持ち固定チームナーシング+日々のペアナース制

先輩看護師と一緒にペアで看護実践することで知識と技術を深めることによって、患者さんにとって安全で安心でき、信頼と満足を得られる質の高い看護の提供につなげています。





Section 部門紹介

CCU/ICU (集中治療室)

CCU/ICUでは、主に生命の危機にある循環器疾患、超急性期にある患者さん、侵襲の大きい手術後の患者さんや重症救急患者さんの治療と専門的な看護を提供しています。非日常的な状況下で患者さんの不安を解消し、異常の早期発見や疼痛のコントロールを行い、1日も早い回復に向けた看護を提供しています。



手術室

手術室は10室あり、年間約2200件手術を行っています。脳神経外科、外科、産婦人科、整形外科、リウマチ整形外科、泌尿器科、皮膚科、乳腺外科、心臓血管外科など幅広い知識や技術の習得ができます。令和4年には特定行為看護師が3名誕生し、麻酔科領域での看護実践に取り組んでいます。



血液浄化センター

血液浄化センターでは、慢性腎臓病の患者さんの透析前の保存期から透析導入期、維持透析期まで一貫した治療を行っています。ワンフロアで、多職種によるチーム医療を行うことで、多角的な視点での支援ができ、QOLの維持・向上につながっています。専門的な知識と技術で透析看護を提供し、患者さんが自分らしく日常生活を送ることができるよう、合併症の予防や日常生活管理の支援を行っています。



脳卒中センター

脳卒中センター (HCU) では、主に急性期にある脳卒中の患者さんや脳疾患の術後の患者さんの治療と専門的な看護を提供しています。生命維持、悪化防止に努めながら、機能回復の視点も大切にしています。



内視鏡センター

内視鏡室では、消化管や肝胆膵臓などの検査、治療を年間約7000件行っています。消化器・内視鏡技師の資格をもった看護師が医師と連携し、的確な技術を提供することで少しでも苦痛や不安を軽減できるように日々、検査介助を行っています。



骨・運動器センター

骨・運動器疾患センターでは、大阪府南部・和歌山県北東部・奈良県中西部の基幹病院として変形性関節症(股・膝)、骨折、頸椎・腰椎の椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症などの患者さんにクリニカルパスに沿った医療・看護を提供しています。患者さんの早期社会復帰を目指し、術後1日目からリハビリテーションを開始しています。退院後の生活の移行をスムーズにするため地域医療連携室と連携して退院支援をしています。



救急部門

救急外来では、南河内医療圏の二次救急受け入れ病院として、救急搬送を積極的に受け入れています。その中には、慢性疾患の急性増悪による急変や、転倒などの思わぬ事故で搬送されてくる患者さんがいます。危機的状態である患者さんの状態の安定化に向けて迅速かつ丁寧な看護を提供しています。患者さんだけでなく、また、突然の出来事で困った不安なご家族のサポートもしています。



地域および患者支援部門

入院前から退院後の生活を見据えた早期介入、地域の訪問看護師とのオンラインを活用した面会やカンファレンス、助産師による訪問産後ケアを行っています。

患者さんは、「生活者である」という視点を大切にしながら、様々な部門・施設と連携を図っています。



免疫疾患センター

免疫異常政策医療の基幹病院として、リウマチ、膠原病患者さんに自己注射を含め薬剤の管理支援、生活支援、妊娠・育児支援、フットケアなどを行い、病気とうまくつきあっていくための看護・支援を行っています。



Team チーム医療

各分野のスペシャリストがチームを組んで患者さんをサポートします



入院中の治療や教育・指導について、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、MSW、心理療法士とチームで取り組み評価を行いながら患者さんが安心して治療を受けて頂けるよう病室に訪問しています。当院では様々な場面で各分野の専門性をもった看護師が患者さんのサポートをしています。



- **NST 栄養サポートチーム**
MNA®-SF で栄養状態の評価を行い、多職種のスタッフで適切な栄養摂取方法を検討、栄養状態の改善を図っています。
- **摂食嚥下チーム**
NSTと共にラウンドし、STが中心となり嚥下機能回復に向けた訓練を実施しています。
- **緩和ケアサポートチーム**
医師、がん看護分野の専門・認定看護師、がん専門薬剤師、MSW、栄養士、心理士、理学療法士の多職種で患者・家族の苦痛緩和を図り、患者が望む治療や生活を支えられるケアを提供しています。
- **感染制御チーム**
感染しないさせないために、知識や技術の指導、治療環境の整備、抗菌薬適正使用等の支援を行い、患者の早期回復を支えています。
- **褥瘡対策チーム**
ベッドサイドでポジショニングや栄養管理のアドバイス等を行い、病棟スタッフと連携し褥瘡発生予防・早期治療に取り組んでいます。
- **認知症サポートチーム**
医師、認知症看護認定看護師、薬剤師、MSW の多職種で、認知症患者が安全に治療を受けられ、退院後もその人らしい生活を送れるようサポートしています。
- **地域連携 (患者支援センター)**
外来から入院、入院から在宅へと医療・看護が継続できるよう入退院支援を行っています。
- **医療安全管理チーム**
専従の医療安全管理者を中心に「安全・安心・質の高い医療の提供」の基盤づくりを行っています。
- **呼吸サポートチーム**
人工呼吸器装着中の患者、呼吸状態が不安定な患者を対象にラウンドし、早期に呼吸器から離脱できるよう呼吸ケアの指導や呼吸器合併症の予防に取り組んでいます。
- **排尿ケアチーム**
尿路感染を防止するとともに、排尿障害を持つ患者のQOL向上に向けて援助しています。
- **災害チーム**
地域の災害拠点医療を担っており防災対策委員会を設置し、さまざまな災害に備えて病院安定運営に尽力しています。

Ward 病棟

東館	7F	総合内科	西館	7F	泌尿器科 / 血液内科 / 腫瘍内科 / 呼吸器・アレルギー内科
	6F	緩和ケア内科		6F	リウマチ・膠原病科 / 整形外科 (脊椎・リウマチ) / 内分泌・代謝内科 / 皮膚科
	5F	消化器科 / 脳血管内科・神経内科 / 整形外科 (関節) / 放射線科・IVRセンター		5F	外科 / 消化器科 / 救急科
	4F	脳神経外科 / 腎臓内科 / 脳血管内科・神経内科		4F	血液浄化センター
	3F	循環器科 / 心臓血管外科 / CCU・ICU		3F	産婦人科 / 乳腺外科 / 小児科 / 脳神経外科 (女性) / 脳血管内科・神経内科 (女性) / 循環器科 (女性) / 共通 (女性)
	2F	外来		2F	手術室



Education 教育体制

教育目標

- 1 基本的人権を尊重した患者中心の看護実践ができる看護師を育成する。
- 2 組織およびチームの中での役割を認識し、社会のニーズに対応できる専門知識・技術・態度に優れた看護師を育成する。
- 3 看護のリーダーとしての役割が発揮できる看護師を育成する。
- 4 自己学習能力の高い看護師を育成する。

ラダーレベルI年間計画

キャリアラダー(ACTyナースver.2)

大阪南医療センターでの役割を果たすために求められる看護師の能力・教育内容が示されており、この能力開発プログラムを基に教育内容を計画し実施しています。



国立病院機構看護職員のキャリアラダー(ACTyナースver.2)

	レベル I	レベル II	レベル III	レベル IV	レベル V
	看護実践に必要な基本的能力を習得する	①根拠に基づいた看護を実践する ②後輩と共に学習する	①個性を重視した看護を実践する ②看護実践者として後輩に指導的役割を果たせる	①後輩の学習を支援する ②チームリーダーとしての役割行動がとれる	専門性の発揮、管理・教育的役割モデルとなり、研究への取り組みができる
	看護基礎教育				
高度な専門的知識・技術を融資主体的に実践できる。	看護基準・手順に沿った看護を実践する。	根拠に基づいた看護を実践する。	患者の個性を重視した看護を実践する。	状況に応じ、的確な判断のもと看護を実践する。	状況に応じて医療チームに働きかけ、看護を実践する。
高い倫理観に基づいた質の高い看護が提供できる。	多様な価値観・信条や生活背景をもつ人を尊重した行動がとれる。	倫理上のジレンマを表現する。	医療倫理・看護倫理上の問題に気づき、問題提起する。	倫理的問題の解決に向け権利擁護に向けた行動をとる。	倫理的視点に基づく看護実践の役割モデルとしての行動をとる。
多職種と協働し、看護の役割を発揮する。	看護チームの一員として自分の役割を理解する。	看護チーム内での役割を遂行する。	主体的に看護チームの一員として役割を遂行する。	看護チームのリーダーとして行動する。	看護チームの役割モデルとして行動する。
病院経営に参画でき、看護マネジメントができる。	看護ケアの質の評価や改善の必要性を理解する。	看護ケアの質向上のための改善点に気づく。	看護ケアの質の評価を行い、看護の質向上に向けた改善の手立てを提案する。	チームの中で看護ケアの質を評価し、看護の質を高めるための行動をとる。	チームの中で看護ケアの質を評価し改善するための方策をスタッフを巻き込んで取り組む。
後輩と共に学び合い、自律した看護職になる。	日常の看護実践の中で、支援を受けながら看護行為の振り返りを行う。	日常の看護実践の中で、看護行為の振り返りを習慣づける。	経験を日々の看護実践にいかし、自己の看護観を高める。	自己のキャリア形成について具体的な展望を持ち主体的に自己研鑽する。	自己キャリアアンカーを確認し、役割モデルを果たす。
臨床看護研究ができる能力を有し、看護を創造する。	看護実践における問題解決のため必要な文献検索を行う。	自己の課題を見出し文献学習する。	自己の看護実践の意味づけを行う。	研究的態度を身につける。	研究的に取り組む。

※「看護師のクリニカルラダー」(日本看護協会)との互換性に対応できる内容とし、新採用者看護職員の経験したキャリア支援を可能にしたキャリアラダー。

看護部集合教育計画

レベル	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レベル V	看護管理について勉強をしたい、看護研究に取り組んでほしい!			看護管理		患者の言動の背景を理解する	レベルの違う研修生たちが同じ研修に参加し、みんなで学びを深めます!			働きやすい未来に残る職場づくりのための看護管理発表会	看護研究発表会 Acty卒業式! 私の集大成	
レベル IV		質改善の取り組み	年間を通して研修の内容を自部署で実践していきます!		ティーチング コーチング アサーション		複雑な問題をもつ患者の事例検討			質改善の取り組みと成果発表会		
レベル III			年間を通して複数年育成や病棟の課題について自部署で取り組んでいます★			複眼的思考による分析	自分たちの看護実践を振り返ります!		チームアプローチの実践	病院における課題の分析と取り組み発表会		
レベル II	病院の目標、看護部の目標、自部署の目標を理解する		どのレベルも学習がメインの研修ばかり!		ナラティブアプローチ		チームコミュニケーション			エビデンスに基づいた看護発表会		
レベル I	新採用オリエンテーション	リフレクション	フィジカルアセスメント	患者の言動の背景を理解する		メンタルヘルス1	多職種カンファレンスの学び共有会	メンタルヘルス2		その人らしさを支える看護発表会		





Work Life Balance ワークライフバランス

Message 先輩看護師の声を届けます

新人ナースの
1日に密着



先輩と一緒に
患者さんのケアについて
考えます。

13:30 ~ 14:00 カンファレンス

12:30 ~ 13:30 昼食(休憩)
ホッと一息。楽しいランチタイム。



14:15
検温 記録 点滴・患者ケア
しっかり確認!



9:45
検温・記録・点滴・患者ケア
今日も体調良さそうですね。



お疲れ様です。
明日も
頑張ります。

しっかり働きしっかり休む
メリハリが大切

夜勤明けは必ず休日。
プライベートはゆったり過ごせます。

勤務例

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
日勤	日勤	夜勤入り	夜勤明け	休日

勤務体制

- 日勤 8:30~17:15 ● 早出 7:00~15:45
- 夜勤 16:45~ 9:00 ● 遅出 10:45~19:30

休日休暇

- 4週8休 ● 国民の祝日、年末年始の休日有 (*勤務した場合は代休有)
- 年次休暇(有給) 年間20日 ● リフレッシュ休暇 年間3日
- 病気休暇・特別休暇(有給)有 ● 子育て支援制度有

指導者からのメッセージ

「楽しく!笑顔で!」をモットーに
現場で活かせる充実した研修に取り組んでいます

教育担当看護師長
楽しく!笑顔で!をモットーに集合研修を運営しています。研修では、日々の看護実践で活用できる基礎的な能力を身に付けられるよう計画を立てています。また、研修での学びを臨床現場で実践できるようにみづくりを行い、研修を受けっぱなしにしない環境を整えています。研修は、他部署の同期と会える貴重な時間でもあります。みんなで学びつつ、ホッと一息できる空間づくりにも力を入れています。

教育委員会
集合研修にも参加し、研修で学んだことを日々の看護実践の中で活かすことができるよう教育計画を副看護師長と共に立案しています。スタッフ全員で教育計画を共有し育てることができるよう、取り組んでいます。



楽しい職場で
やりたい看護が
できる!



今日のペアは
どの先輩かな?

心強いペアナース制

新人看護師
先輩と一緒になので安心です。わからないことがあればすぐに聞きながら2人で検温やケアを行っています。

副看護師長
ペアナース制で、一緒に行動しているので、困っている時に相談や協力することができるので安心して看護ができます。一緒に成長していることを日々感じながら、楽しく仕事しています。皆様と一緒に看護ができる日をお待ちしています。



笑顔と元気が
いっぱいの
職場です!

風通しがよく、
とても働きやすい職場です

先輩・後輩関係なく、お互いが看護師として尊重し合い、仕事のこともプライベートのことも何でも相談できて、とても楽しく、やりがいがあり、働きやすい職場です。ぜひ私たちと一緒に働きましょう!

イケメンナース!?!も
絶賛活躍中!

男性にとってはまだアウェイ感のある職業か
思っているあなた!全然そんなことはありません!男女関係なく誇りを持って働ける仕事です。ちなみに当病院の看護師の男女比は1:9です。男性比率アップのため、力を貸してください!





Specialist スペシャリスト

Point1 看護の専門分野を極める!

専門看護師 2022年10月現在

- がん看護専門看護師(1名) ● 急性・重症患者看護専門看護師(1名)

認定看護師 2022年10月現在

- がん性疼痛看護認定看護師(2名) ● 救急看護認定看護師(2名)
- がん化学療法看護認定看護師(1名) ● 手術看護認定看護師(1名)
- 皮膚排泄ケア認定看護師(1名) ● 認知症看護認定看護師(2名)
- 緩和ケア認定看護師(2名) ● 透析看護認定看護師(1名)
- 感染管理認定看護師(2名)



認定看護師

Point2 プロフェッショナルとしてのやりがい!

各分野のスペシャリスト 2022年10月現在

- 臨床研究コーディネーター(4名) ● 小児アレルギーエドゥケーター(3名) ● 介護支援専門員(3名) ● フットケア指導士(3名)
- アドバンス助産師(6名) ● リウマチ学会認定看護師(8名) ● 消化器内視鏡技師(4名) ● 糖尿病療養指導士(5名)
- 周術期管理チーム認定(3名) ● NST専門療法士(4名) ● 呼吸療法認定士(8名) ● 日本DMAT隊員(3名)
- インターベーションエキスパートナース(3名) ● 運動器リハビリテーションセラピスト(1名)
- 術中麻酔管理領域特定看護師(3名) ● 救急領域特定看護師(2名)

あなたのキャリアアップを応援します!

特定行為研修指定研修機関として術中麻酔管理領域パッケージ、救急領域パッケージの研修を行っています。特定行為に係る看護師とは、医師がいなくても安全に特定行為(診療の補助としてできる医療行為)ができる看護師のことをいいます。令和2年度より研修開始となりました。当院で働きながらキャリアアップして活動の場を広げることができます。

共通科目(250時間)	各科目時間数
臨床病態生理学	30時間
臨床推論	45時間
フィジカルアセスメント	45時間
臨床薬理学	45時間
疾病・臨床病態概論	40時間
医療安全学/特定行為実践	45時間

当院の特定行為研修パッケージ

特定行為区分	特定行為	術中麻酔管理領域 (8行為76時間)	救急領域 (9行為87時間)
呼吸器(気道確保に係るもの) 関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	○	○
	侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	○
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの) 関連	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	-	○
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	-	○
	人工呼吸器からの離脱	○	○
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	○	○
	橈(トウ)骨動脈ラインの確保	○	○
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	○	○
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮静剤の投与及び投与量の調整	○	-
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	○	-
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与	-	○

Basic Information 福利厚生など

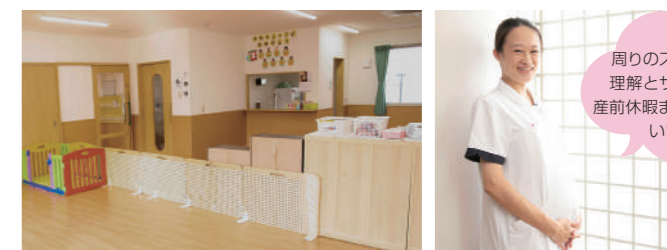
院内宿舎 快適な住まいで暮らしを支援

病院の敷地内にあり徒歩2分でお勤することができます。お部屋も広くトイレ・お風呂が別で、収納スペースが多く新居のようにきれいで、1人暮らしを快適に過ごすことができます。住居手当 最高月額 27,000円



院内保育所 敷地内に完備されているので安心して出産・子育てができます!

8:00~18:00 (病児保育あり)



周りのスタッフの理解とサポートで産前休暇まで頑張れています

その他 コンビニ、カフェなど

- コンビニ 7:00~20:00 (平日)
9:00~19:00 (土日祝)
- カフェ 7:30~18:00 (土日祝休業)
- 職員食堂 11:00~14:00



コンビニ

カフェ

職員食堂

ともに学び合う環境

職員同士で学び合う環境が整っています!看護師だけでなく、違う部署のスタッフや他職種と学ぶ機会もあります。学ぶ環境を重視するアナタ!ぜひ大阪南医療センターと一緒に働きましょう。

院内セミナー



VR認知症体験など体験・実践形式のセミナーが多い!

大人用おむつの装着方法を楽しく学びました★

学会発表



看護研究を発表できた達成感スゴイ!

BLS研修



医師や先輩看護師が手厚くサポート!

看護学生との交流

